

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2019. 2. 25

下水道機構の『新技術情報』 第369号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

健康増進のために、ポケオンGOをやっています。

24日にイベントがあったので最寄り駅の周辺をあっちに行ったり、こっちに行ったりしていると、駅から伸びている道に交通量調査をしているのか、数取器を並べて歩行者等をカウントしている人がいました。

このような調査は、市の商業振興施策や道路整備などの基礎的な資料になる調査のようです。

イベントのため、いつもより沢山の人が行ったり来たりしていたと思います。調査員の方すみませんでした！そして、お疲れ様でした！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第369号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・2月の技術サロンを開催しました！

■機構の動き

- ・今週はありません

■Tea Break

- ・存在感（50代男性さんからの投稿です）

■研究成果のおさらい

- ・M幹線に関する水理模型実験による調査研究
- ・八木・緑井地区復興雨水渠の水理検討に関する研究

■ピックアップ！機構情報

- ・平成29年度審査証明技術（資器材）

■はしわたし

- ・今週はお休みです。

■国からの情報

- ・2/22付下水道ホットインフォメーション

インフォメーション（最新の話です）

●2月の技術サロンは、埼玉県下水道局の参事兼下水道事業課長 若公崇敏氏をお迎えして開催しました。

今回のテーマは「埼玉県下水道局の今後の展開～経営マネジメント目標とストックマネ

ジメント計画～」でした。

若公参事は、2001年に国土交通省に入省されました。環境省水・大気環境局水環境課課長補佐、国土交通省下水道部下水道企画課課長補佐を歴任されたのち、2015年よりJICA専門家・ベトナム建設省下水道政策アドバイザーに就任、2018年7月より現職の埼玉県下水道局にて参事兼下水道事業課長としてご活躍されています。

埼玉県の流域下水道は昭和41年から事業を開始し、平成22年度に下水道局が設置され、公営企業法の全部適用へ移行しました。埼玉県流域下水道の事業運営は、その根幹を示した“経営戦略”と実践目標を示した“経営マネジメント目標”、建設改良事業の総合的なシナリオとなる“ストックマネジメント計画”の3つの柱により、流域下水道を“持続”し“進化”させていくとのことでした。

このうち、“経営マネジメント目標”については、“下水道施設の保全”や“収支が均衡する安定的・持続的な経営”など5つの持続に関する実践目標と、“下水道資源の有効活用”や“新技術等の積極導入”などの進化に関する実践目標、併せて10の目標を掲げ事業を推進しており、建設改良事業費は、今後の必要な事業を的確に把握したうえで、5年で1000億円の投資目標を立て、これを平準化することで安定的な事業運営を目指しているそうです。

“ストックマネジメント計画”では、限られた予算の中で効果的に事業推進するために、水環境センターの耐震化は流入から放流まで最低1系列を耐震化し、さらに、これまでの大規模地震において幹線管渠の被災事例が少ない知見から、幹線管渠より緊急輸送路下の小口径管渠の耐震化を優先して実施することとしているそうです。

また、広域自治体として県の役割を拡充する目的から、これまで県知事権限であった県内の市町村指導がH31.4より下水道局に統合、執行体制が一元化され、今後は公営企業法全部適用の公営企業として市町村指導も行う“埼玉モデル”の構築により、県内の広域化・共同化に向けた取り組みの推進を検討しているとのことでした。

埼玉県下水道事業の方向性や考え方が参考となるとも興味深いご講演で、今回も定員に達する多くの方々にご参加していただき、大変盛況のうちに閉会となりました。

さて、次回の技術サロンは3月14日(木)16:00から17:00での開催となります。横浜市環境創造局 下水道計画調整部長 竹内 徹也 氏を講師にお招きし、「横浜市下水道事業中期経営計画2018について」をテーマにご講演いただきます。

多数のご参加をお待ちしております！

。。。。

機構の動き (機構の行事予定です)

。。。

○平成30年度 第3回技術委員会

日時：平成31年3月6日(水) 13:30~17:00

案件：①各委員会の調査研究報告についての審議
：②その他

○第379回技術サロンを開催します！

日時：平成31年3月14日(木) 16:00~17:00

場所：機構8階 中会議室

講演者：横浜市環境創造局 下水道計画調整部長 竹内 徹也氏

テーマ：横浜市下水道事業中期経営計画2018について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon379>

○平成30年度 建設技術審査証明事業(下水道技術) 交付式を開催します！

日時：平成31年3月15日(金) 午後

場 所：機構 8 階 中会議室

案 件：平成 30 年度 建設技術審査証明事業（下水道技術）審査証明書の交付

。○○。

Tea Break （機構職員の感じるまま）

。○○。

●存在感（50 代男性さんからの投稿です）

恒例の健康駅伝が終わりました。走られた方、応援された方、お疲れさまでした。有力者が揃う 4-2 区で、私も疲れるはずでしたが、日陰で寒いまま大会を終えることになりました。

直前まで一緒にウォーミングアップを行っていた 4-1 区の走者が、タスキを渡すことなく一周レーンを走り抜けていったようです。私は、存在感が薄いのかと思ったりもしましたが、彼がこの調子で、脇目も降らず一目散に疾走していったように仕事をしてくれればと前向きに考えることにしました。タイムもよかったですし・・・。

。○○。

研究成果のおさらい （機構の研究成果（要約版）をご紹介します）

。○○。

・ M 幹線に関する水理模型実験による調査研究（東京都）

M 幹線の最上流部の特殊人孔は、3 方向から流入した雨水を約 20m の高落差で M 幹線へ流下させる施設です。また、M 幹線が地下鉄と交差する部分では、管きょ断面が縮小するため、流下能力や排気能力への影響が懸念されていました。いずれも特殊な施設構造であり、机上の検討だけでは安全性の確認が困難なため、雨水流入時の水理現象や空気挙動の把握を目的として水理模型実験を実施し、安全性の検証及び適切な対策工の検討を行いました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-02-25-ab1>

・ 八木・緑井地区復興雨水渠の水理検討に関する研究（広島市）

本雨水渠は、市街地から流出する雨水に加え、現在整備中の砂防堰堤からの排水等を受け、貯留機能を有する下水道と河川の合築施設であり、全国でも事例のない施設です。本雨水渠の整備にあたり、構造の最適化を図ることを目的とし、水理模型実験に基づく検討を行いました。

→ <https://www.jiwet.or.jp/2019-02-25-ab2>

。○○。

ピックアップ！機構情報

（今週は、平成 29 年度に審査証明を交付した技術をご紹介します）

。○○。

・ 平成 29 年度審査証明技術（資器材）

●【第 1714 号】DCJ ボックスカルバート（耐震性継手および可とう性継手付ボックスカルバート）【変更】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-1>

●【第 1733 号】NC ラバーコーン（下水道マンホール用耐震性継手）【更新】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-2>

- 【第1734号】WIDEジョイント（下水道マンホール用耐震性および可とう性継手）【更新】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-3>

- 【第1735号】クロスウェーブ型ダブルポート（コンクリート・プラスチック二槽式雨水貯留システム）【更新】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-4>

- 【第1736号】プラスチック地下貯留・浸透施設（雨水流出抑制用施設）【更新】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-5>

- 【第1737号】アロンホール【なめらか】（内面平滑自在付硬質塩化ビニル製小型マンホール）【更新】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-6>

- 【第1742号】シンシンプロック槽（プラスチック地下貯留浸透施設）【変更】

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination-equipment-2017-7>

審査証明技術全体はこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/examination0>

下水道機構情報 Vol.13 No.28 2019.1（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly28>

下水道機構情報 Vol.13 No.27 2018.7はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly27>

WEB版機関誌下水道機構情報Plus+ 15号（最新刊）はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter15>

下水道機構情報はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

。○○。

はしわたし（みなさまの情報交流の場です）

。○○。

＼(^-^＼皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

。○○。

国からの情報

。○○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2019.2.22の情報です）

配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課

企画専門官 堂蘭洋昭

先週2/16（土）に放送されたNHKのプラタモリ。パリが舞台でしたがご覧になりましたか。

シテ島を中心に2,000年近くかけて発展したまち、人口の集中で住宅が密集、狭小な道路、下水道がなく人の排泄物を建物から道路に投げ捨てそのため不衛生なまちだったのが、19世紀になって道路の拡張、巨大下水道の整備を行い、華の都と呼ばれる衛生的なまちに生まれ変わった、といったものでした。パリが生まれ変わるのに下水道が寄与したこと、大変興味深く見ました。テレビを見ながら、就職した当初にある上司が教えてくれた、女性のハイヒールが、道路の排泄物をなるべく避けるために誕生したこと、中世の大きく膨らんだフープ・スカートも立ったまま排泄しやすいように生まれたことなどを思い出しました。歴史・文化、まちづくりの観点から下水道をみると、おもしろい話がまだまだたくさんあるように思いました。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○下水道全国データベースで平成28年度データの公開を開始しました（下水道事業課）

○平成31年度 下水道技術海外実証事業（WOW TO JAPAN プロジェクト）を公募

○第9回マンホールサミット in 池田の開催が決定しました
（池田市上下水道部／下水道広報プラットフォーム（GKP））

=====

○下水道全国データベースで平成28年度データの公開を開始しました（下水道事業課）

下水道全国データベース（G-NDB）で、平成28年度版「下水道統計」及び国交省調書データを

登録、公開開始しました。

G-NDBは、全国の下水道情報を効率的に収集・分析・共有し、下水道の見える化を図るため、

国交省が構築したデータベースで、平成28年度から運用しているものです。

データベースでは、下水道統計や国土交通省下水道部が調査している各種調書、地方公営企業年鑑等のデータの閲覧、任意検索によるデータのダウンロードなどが可能となっています。

登録データの閲覧は、国・地方公共団体及び登録会員のみが利用可能です。

トップページからログインしてご利用ください。

下水道全国データベース（G-NDB）

<https://portal.g-ndb.jp/portal/> （システム稼働時間 平日 8:00～21:00）

下水道全国データベースでは、地方公共団体におけるストックマネジメント（SM）の工夫事例（ベストプラクティス）などの情報も随時更新しています。あわせてご活用ください。

○平成31年度 下水道技術海外実証事業（WOW TO JAPAN プロジェクト）を公募

国土交通省では、我が国下水道技術の海外展開を目指す『下水道技術海外実証事業』の公募を開始しました。

本事業では、本邦我が国の下水道技術を海外で実証するとともに普及活動にも取り組み、当該技術の有効性の確認・現地関係者の理解醸成を図っていくことにしています。

世界にチャレンジする我が国下水道技術の応募をお待ちしております。

<事業概要>

- ・実施内容：実証試験、普及方策の検討、普及活動
- ・公示期間：平成31年2月20日（水）～5月17日（金）
- ・申請書受付期間：平成31年4月15日（月）～平成31年5月17日（金）
- ・履行期間：契約日の翌日～平成32年3月19日（木）

※公募要領や過去の採択案件等については、下記URLに掲載しています。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewage/mizukokudo_sewage_tk_000607.html

○第9回マンホールサミット in 池田の開催が決定しました

（池田市上下水道部／下水道広報プラットフォーム（GKP））

「第9回マンホールサミット in 池田」を平成31年10月19日（土）に池田市で開催することが決定しました。

マンホールサミットはマンホール蓋の魅力を発信するとともに、下水道に関心を持っていただくことを目的としたイベントです。

9回目となる今回は、「事始めのまち池田から発信」をテーマに、池田市制施行80周年・猪名川流域下水道通水50周年を記念して、池田市上下水道部と下水道広報プラットフォーム（GKP）が共同で開催します。

【開催概要】

日時：平成31年10月19日（土）

場所：池田市立五月山体育館、池田城跡公園

主催：池田市上下水道部、下水道広報プラットフォーム（GKP）

イベント内容：

トークイベント、マンホール蓋実物展示、マンホールグッズ販売…等（予定）

※イベント内容の詳細や事前登録については後日ご案内いたします

詳細は池田市上下水道部 HP をご覧ください

<http://www.ikedashi-suido.jp/oshirase/1550650310043.html>

【参考情報】

◆水害で250万人被災か＝東京東部、2週間浸水も一広域避難の検討啓発〈2/17 時事ドットコムニュース〉

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2019021700267&g=soc>

◆〈津波防災地域づくり法〉22メートル以上の津波、浸水面積は震災超え 福島県が最大級の事態想定〈2/21 河北新報〉

https://www.kahoku.co.jp/tohokunews/201902/20190221_61008.html

◆おむつの下水処理で指針 国交省、装置性能など公表へ〈2/21 日本経済新聞〉

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZ04157323021022019CR8000/>

◆「ラスカル」のマンホールふた クッキーに印刷し人気、多摩の通所作業所手作り [東京都多摩市] < 2/21 東京新聞 >

<https://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201902/CK2019022102000129.html>

◆指宿市内にポケモン進化形マンホール ポケモン GO ポケストップにも [鹿児島県指宿市] < 2/21 鹿児島経済新聞 >

<https://kagoshima.keizai.biz/headline/1467/>

◆下水道 斬新企画で愛着を [福井県福井市] < 2/22 読売新聞 >

<https://www.yomiuri.co.jp/local/fukui/feature/C0028751/20190221-0YTAT50048/>

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>